電池サプライチェーンの国際競争力強化を推進する新たな関連団体 「電池サプライチェーン協議会」の加入について

セントラル硝子株式会社は、電池サプライチェーン(電池の材料、部品およびその原料に関わる産業)の国際競争力強化を推進する新団体「電池サプライチェーン協議会(以下、BASC)」(会長:阿部 功(住友金属鉱山㈱執行役員))に加入することを決定しました。これは、2021年4月1日に一般社団法人として設立される、脱炭素社会実現に向けて電池サプライチェーンの国際標準化や電池エコシステム構築等の活動をする新団体BASCに当社が会員として参加するものです。

<加入団体の概要>

- ・名称: 電池サプライチェーン協議会 (Battery Association for Supply Chain; BASC)
- · 形態: 一般社団法人
- · 設立: 2021/4/1
- ・目的:電池サプライチェーンの健全な発展を図る
- ・会員: 当社を含めた電池サプライチェーン関連企業 約30社 (設立時点)

セントラル硝子株式会社は、これまでリチウムイオン二次電池用電解液事業の開始以来、革新的な電解質の製造方法確立や電池性能を大幅に高める各種添加剤の開発に成功し、お客様より高い評価を得ております。

また、世界各国での自動車排出ガス規制強化に伴い、急速に拡大しているリチウムイオン二次電池用電解液需要に応えるため日本国内のみならず、需要の中心地である韓国、中国、欧州(チェコ共和国)に製造・販売拠点を設立し、年間50,000t以上の生産能力を有しており、更に2018年には中国の電解液メーカーと共同で設立した電解質の製造・販売会社を通じて、更なるサプライチェーン強化に取り組んでおります。

これらにより市場ニーズをいち早く捉えたグローバル供給体制を構築しております。

セントラル硝子株式会社は、脱炭素社会実現に貢献するため、その志を共にするBASCの仲間とともに積極的に取り組んで参ります。

なお、BASCの詳細は、別紙資料をご参照ください。

【本件に関するお問い合わせ】

セントラル硝子株式会社 エネルギー材料営業部 TEL: 03-3259-7875

電池サプライチェーン協議会(BASC)について



2020年3月8日



1. 設立の背景①

世界各国で脱炭素社会に向けて電池に係わる取り組みが加速

欧州

・欧州バッテリー指令の公表(2020年12月)

中国

- ・リチウムISO規格を作成する技術委員会(TC)設置提案 ⇒委員会幹事局として主導
- ・電池資源確保に向けたアグレッシブな投資

日本

·2050年目標 CO2排出実質ゼロ宣言(2020年10月)



1. 設立の背景②

国内電池サプライチェーンに係る当面の課題

・電池サプライチェーンの標準化に対し、国内審議団体がない

・サスティナブルな電池エコシステム構築が急務

・電池サプライチェーン産業グローバル競争激化

→ 上記の当面の課題解決のため、横断的な団体が必要



2. 団体概要

目的	電池材料、部品及びそれらの原料の工業及びサプライチェーン関連産業の健全 発展を図る	:な
団体名	一般社団法人 電池サプライチェーン協議会 (英文名:BATTERY ASSOCIATION FOR SUPPLY CHAIN 略称: BASC)	

設立日 2021年4月1日(予定)

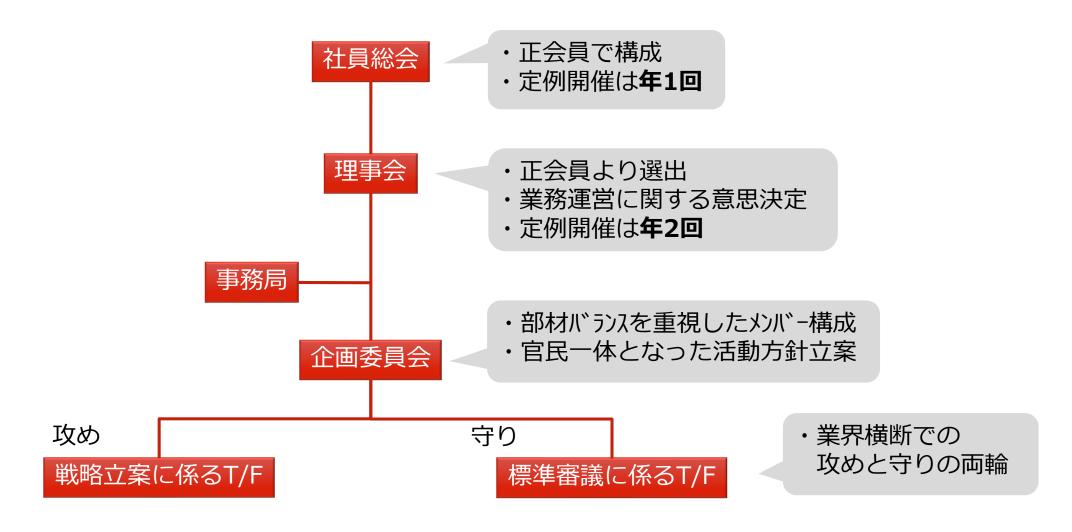
設立形態 一般社団法人

会員 (50音順、 敬称略) 出光興産、岩谷産業、宇部マクセル、MUアイオニックソリューションズ、GSユアサ、昭和電工マテリアルズ、住友金属鉱山、住友商事、セントラル硝子、大日本印刷、田中化学研究所、豊通リチウム、日亜化学工業、日本化学産業、日本触媒、パナソニック、阪和興業、ビークルエナジージャパン、冨士発條、プライムアースEVエナジー、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ、本田技研工業株式会社、三井金属鉱業、三井物産、三菱ケミカル、三菱商事、明和産業、森田化学工業、UACJ

29社(2021年3月4日時点)



3. 組織体制





4. 活動内容



戦略立案に係るT/F

- ■国際競争力強化
- ■電池エコシステム構築
- ■カーボンニュートラル実現



政策提言



標準審議に係るT/F



国際標準化

5. 会員企業様































セントラル硝子





























BASC

Battery Association for Supply Chain